

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～



5月になりました

風薫る季節、5月になりました。

校庭の「くすのきさん」の新緑がとてもまぶしく輝いています。

さて、新年度になり約1か月が過ぎました。やる気と緊張で張り切っていた子供たちも、少しずつ今の生活に慣れてくる時期です。また、季節の変わり目で体の不調も出やすい季節です。

日々の活動にしっかりと目標をもち、「くすのきさん」の新緑のように生き生きとした毎日を過ごせるようにしていきたいと思います。

歓迎集会・次郎とのふれあい遠足

5月2日（木）に、1年生の「歓迎集会」と「次郎とのふれあい遠足」を行いました。

「歓迎集会」は、以下のように、それぞれの学年が1年生のために役割をもって参加しました。

5年生 入場時のアーチ

6年生 1年生をエスコートして入場

3年生 1年生の名前を呼んで紹介

4年生 退場時のアーチ

2年生 退場時に1年生と手をつないで教室までエスコート

また、運営集会委員会がクイズを行って会を盛り上げたり、全校で、校歌を歌ったりして一体感をもつことができました。1年生も、代表の子が堂々とお礼の言葉を言うことができ、とても温かな歓迎集会となりました。



そのあとは、縦割り班で「次郎とのふれあい遠足」に出発しました。

目的地は、中津河川敷。

そこに至るまでに、下村湖人先生や次郎物語とゆかりのある場所を、6年生が下級生に説明しながら行くのが「次郎とのふれあい遠足」です。途中、「下村湖人生家」だけでなく、「青木医院跡」「正木家跡」など、実際に物語に出てくる場所なども見て行きます。「ここで次郎は・・・をしたんだな」と考えると、物語がぐっと近くに感じられます。

また、「次郎」と触れ合うだけでなく、1年生の歓迎の意味も込めた遠足です。

縦割り班で並んで歩きますが、6年生が1年生と手をつないで、笑顔で歩いていくことができました。また、みんなで一緒にお弁当を食べたり、一緒に遊んだりして、どんどん仲良くなっていきました。

これから、学校でもいろいろな活動を通して、更に仲良くなってくれるといいなと思います。

地域の方から

先日、地域の方からお電話がありました。内容は、子供たちへのお褒めの言葉でした。

「学校の北東側の地区から来る4～5人の子供たちが、道を渡った後、車に対して礼をしていた。この日だけでなく、いつも道を渡ると、車に対して礼をしている。礼儀正しく、とても気持ちがいい。」

お電話の方は、誰も見ていなくても、毎日欠かさず行う子供たちの姿を見ていて、とても感心しましたとお話しされていました。こちら嬉しくなりました。